

三朝温泉病院広報誌 — misasa —

みささ

2022.7

vol.48



特集

三朝温泉病院クラウドファンディング 挑戦への記録

「繋がり」を大切に 期待に応える病院へ

スタッフを通して知る
三朝温泉病院の『今』

放射線科
主任診療放射線技師
島本 勇

misasa's NEWS

看護・リハビリのユニフォームを
更新しました

拝啓、読者のみなさまへ

前院長・新院長からの
メッセージ

「繋がり」を大切に 期待に応える病院へ

— 三朝温泉病院クラウドファンディングの立役者 2人の物語 —

当院は、病院では珍しく5つの源泉を保有しています。その特徴を活かせる取り組みとして、温泉を利用した患者風呂と運動浴プールの改修を目的に、クラウドファンディングに挑戦しました。全てが手探りの試みとなる中、中心となって活躍した2人のスタッフへ今の心境をインタビューしました。

石井 紀之 経理課長

2019年より当院勤務。広島県出身。院内誌のコラム担当で、地元広島ではおやじバンドのドラマー。



田中 貴裕 総務係長

2017年より当院勤務。中高は陸上部で、駅伝をしていたことも。現在もスポーツが趣味。



クラウドファンディングとは？

実現したいアイデアをインターネットに掲載し、それに賛同する一般の人々からお金を集める仕組み。

群衆
crowd

+

資金調達
funding

=

クラウドファンディング
crowdfunding(造語)

始まりは一通のメールから

田中: 今から1年半前に事務部長のもとにクラウドファンディングの会社から「病院でも実績がありますので一度面談しませんか?」というメールが届いたんですよ。実はこのメールは地域の病院を応援したいという目的で他の病院にも送っていたみたいです。多く撒いた餌に、県内ではうちだけがまんまと引っ掛かった感じです。うちの事務部長、面白いこと、新しい事、特に「県内初」って言葉に弱いんです(笑)



温泉を活用した施設を改修したいという思いでスタート!!

最初は、医療の現場でやっていいの? っていうのが正直な気持ちだった

田中: 他県の病院のクラウドファンディングの実績を知り、病院でも出来るんだという部分と、いわゆる田舎のこの地域でやってホントに集まるのかなって半信半疑でした。そも

そもクラウドファンディングって何?というところから始めていかなければいけないし、地域の方や職員に認知されるのか不安でした。

石井: 私は事務部長から担当をお願いされたとき、「なんで私が選ばれたんだろう」と驚きが大きかったです。こういう話は、若い人の方が向いてるんじゃないかと思って(笑)。それと、もちろん改修費用が1番の目的ではあるんですけど、ただ単に改修費用をお願いしたいという気持ちだけでは多分達成できないと感じていました。

「お金を集めて修理する」だけの目的で始めてよかったのだろうか?



クラウドファンディングで修理することに対しての気持ちのシフト

石井: 業者との打ち合わせを進めていく中で、病院をPRしていくきっかけになるという事がわかったので自分の中でも気持ちをそこにシフトしていきました。この媒体を通じて三朝のことや、病院のことを広められるなら当然これは意味のある事だし、それが最終的に支援に結びつくのであれば自分としては納得できる。いや、理解できるという風に変わっていったのはありますね。



田中：修理するだけなら計画的に予算を取れば直せると思うんです。ただ、それだと「直った。綺麗になった。」で終わってしまいます。このクラウドファンディングで修理をしたという事に意味があって、患者さんからの感謝の声が聞けたり、地域の方々や知り合いの反応を肌で感じる体験はここで働く職員のモチベーションアップにも繋がってきて、「この病院で働いてよかった」とか職員が思うとなんか嬉しいじゃないですか。

当院勤続年数の浅い二人だからこそ

田中：事務部長は私と石井課長に病院をもっと知ってほしかったから2人に任せたんだと後から聞かされました。

石井：病院の歴史を勉強したり、多部署の職員さんと関わっていかねばいけなかったし、病院を知るいいきっかけになったのも事実です。参考になるものが当院の10年史やホームページくらいで昔のことはわからなかったの、それらを見ながら逆に自分が勉強ですよ。県外出身なので三朝温泉のこともよく知らなかったし、いかにも知ったげに話しますけど三朝町のホームページを見たりして情報収集していました(笑)

田中：全て私たち2人だけで準備を進められたわけではなく、事務部長はもちろん事務部の仲間も協力してくれて、どんどん気持ちが高まってきました。全職員にもSNSなどでの周知をお願いするとポスターを実家に貼ってもいいよという職員も出てきて、嬉しかったですね。また、そうした業務を進めるための色々なノウハウも身につきました。

この取り組みを通して病院を知ってほしい!



広がりを増すクラウドファンディング

田中：初日はびっくりしましたね。本当に支援して下さる方がいるんだと! 開始から5日間で目標額の20%の100万円を目標にしていたんですけど2日でクリアしたんです。そこでちょっとびっくりして、え〜! って感じで。

石井：ネットで支援される方はある程度仕組みを知っている方が多いと思うのですが、直接病院に持って来られた方に対して、どんな顔をしたらいいのか、喜んでいいのかどう対応していいかわからなかったですね。笑顔がいいのか真顔がいいのか? だから表情、硬かったですね(笑)

田中：メディアにもあらかじめ情報を提供してたのも大きかったと思います。当初の予想よりも病院に直接寄付を持って来られる方が多くて、そのほとんどの方が「以前入院してお世話になったから」って言葉も添えられていて、ありがたかったですね。三朝町や観光協会からも情報を発信していきました。珍しいところでは“温泉”というキーワードで全国の温泉好きの方からの支援もありました。ここだけの話、お正月休みも気になって常にネットチェックの日々で、箱根駅伝を見ながら支援がどこまで増えたかなみたいな(笑)。結果的に21都道府県からの支援がありました。



TVでも取り組みをご紹介いただきました



達成状況報告はスタッフ一丸となって撮った写真を載せて!

感謝を胸に、期待に応えられる病院でありたい!



最終的に得たものは

石井：最終的にいきついたのは支援者からの感謝の声ですね。ありきたりの言葉じゃなく本当の言葉。心から病院に感謝して下さっている。一番心に残っているのは、ここに来て治療を受けて助けてもらった、歩けるようになった、とか。そういうのを聞くと、今までこの病院がやってきたことがホントに評価されているのだと実感しました。自分達がやったのではなく、過去を含めて当院に携わった全ての方のおかげでこのような形になった。そういう感謝されているという方々がいて最後まで乗り切れた。自分の中ではその言葉が頭に浮かんで、その気持ちにこれからも応えていきたいって思いましたね。

田中：今後、これらの応援や期待に応えていくことが重要だと思っています。そのために、まずは職員一人一人がそれぞれの立場で患者さんと真摯に誠実に向き合い続けていくこと、そして今回のクラウドファンディングをきっかけに当院を初めて知った方、支援していただいた方には今後も情報発信を続け、当院との「繋がり」を大切にしていきたいですね。

クラウドファンディング成果報告

《実施期間》2021年12月6日～2022年1月31日

当初目標 500万円 → 約942万円
当初目標の188%達成
達成金額
[支援者総数454人]

ご支援・ご声援くださったみなさま
誠にありがとうございました!

おかげさまで修繕が無事に完了いたしました。詳しくは右記のQRコードからご覧ください。



スタッフを通して知る 三朝温泉病院の『今』



患者さんの気持ちに寄り添う 放射線のスペシャリストへ

～光の先に安心安全を探し出す 診療放射線技師の仕事～

当院放射線科の核である、主任診療放射線技師の島本さん。「医療被ばく低減施設」の認定をきっかけとした意識の変化や、今後への思いを語っていただきました。

— 平成30年12月に「医療被ばく低減施設」として認定されていますが、それにより診療放射線技師として変化していったことはありますか

「医療被ばく低減施設」として認定された翌年に放射線管理士の資格を取得しました。放射線管理士の資格については以前から上司に資格取得を促されていましたがなかなか行動が追い付かない状況でした。しかし「医療被ばく低減施設」の認定を受ける準備段階から認定されていく過程の中で、勧められて受けるものではなく、認定施設として必要不可欠な資格だと意識が変化していったのと同時にスキルアップをして自分の存在、役割を確立したいという風に気持ちが変わっていきました。

— 令和2年には医療放射線安全管理責任者に任命されていますが、任命を受けたときはどんな気持ちでしたか？

最初にも話したように三朝温泉病院の診療放射線技師としての存在意義を模索していたところだったので正直「チャンスだ！」って思いました。この任務は初代ですし、自分のポスト、役割を確立させたいと思いました。放射線の安全管理体制の構築が義務化されたもので、病院の被ばく管理は自分の仕事、相談があればどこでも行く！って意気込みでやる気満々です(笑)。前年に放射線管理士となり勉強したことを実践できる場を提供してもらいモチベーションが上がりましたね。

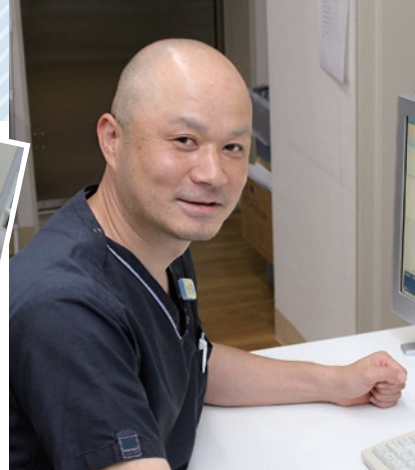
相談があればどこへでも！



— 役割を確立させるとは、たとえばどのようなことですか

放射線管理士としても、ぼんやりは放射線相談やカウンセリングは出来るのですが、相談のスペシャリストになる！を目標とし放射線被ばく相談員を目指しています。ところが試験を受けるための研修枠が36人しかなく、ネットでの申し込みなのですが、申し込みスタートして一瞬(30秒)でなんと満席！今年はあと1回チャンスがあるので次回は絶対に研修に行きたいですね。放射線の知識だけではなく、カウンセリングの知識も身に付けることができ、より「自分の仕事」として確立していける第一歩だと思っています。放射線に対してネガティブな印象の方々の相談に乗ることは大変ですが、患者さんの心の苦しみが少しでも軽くなるお手伝いをしたいと思っています。

実は笑顔が
チャーム！
by取材班



放射線科
主任診療放射線技師

しまもと いさむ

島本 勇

平成16年4月に入職。平成30年4月に主任診療放射線技師に昇任。平成30年の医療被ばく低減施設の認定に貢献する。令和元年放射線管理士資格取得。令和2年に医療放射線安全管理責任者に任命される。

ちなみに

当院では診療放射線技師がこの任務を担っています！

令和2年にエックス線装置などを備える病院等への配置が定められました。原則、医師及び歯科医師とされていますが、条件付きながら診療放射線技師も対象とされました。

目指しています！

放射線被ばく
相談員とは



福島原発事故以来、放射線診療や被ばくへの関心が高まっており、医療被ばくだけではなく原発事故に起因する被ばく相談も増加しているため、広く放射線被ばくの相談に対応できる人材として、平成26年度より放射線被ばく相談員の育成が開始しました。

相談員が学ぶ内容(一例)

- 災害時の被ばく相談
- 原発事故による避難生活とメンタルヘルス
- 医療被ばく相談
- 内部被ばくと福島の現状



この味が好き!

患者さんに人気の給食レシピです♪

当院のおススメ給食メニューをご紹介します。
栄養バランスのとれた食事をご家庭でも!今回の
テーマ

暑い日も爽やか! フルーツヨーグルトアイス



■ 材料 (3～4人分)

ヨーグルト(無糖) 1箱(400g)
はちみつ 大さじ2
缶詰果物(みかん、黄桃) ... 計150g
※好みの果物に変更可能

混ぜて冷やすだけ!
低糖質で夏場にピッタリの
さわやかデザートです

■ 作り方

1. ボウルの上にザルをのせる。ザルにキッチンペーパーを2枚敷き、ヨーグルトをのせて30分置き、水気を切る。
2. 保存袋に①のヨーグルト、はちみつを入れて、袋を揉んで混ぜる。
3. ②に汁気を切った果物を入れ、全体になじませ、袋を平らにして冷蔵庫で半日凍らせる。

((misasa's NEWS)) 三朝温泉病院の最近の出来事や、お知らせなどをお伝えします。

● 看護・リハビリのユニフォームを更新しました

New Uniform Collection 2022

今年度より、看護部とリハビリテーション科のユニフォームを一新いたしました。看護部はこれまでの白を基調としたものから大きくデザインを変更。リハビリテーション科はトレードカラーのワインレッドを残しながら、機能性を強化したものに更新しました。新しいユニフォームを身に付け、気持ち新たに頑張ります!

動きやすい
新ユニフォームです!

落ち着きのあるネイビーのトップスに、ベージュのパンツで優しい印象へ。

看護部

機能性を重視したスクラップスタイルで心も軽やかに

リハビリ
テーション科

温かみと誠実さを感じるワインレッドのトップスを、黒のパンツで引き締めて。

新診療部長紹介

リハビリテーション科診療部長 加藤 芳弘

2022年(令和4年)4月1日より赴任しました加藤芳弘と申します。2013年(平成25年)から3年間、当院に勤務させて頂きました。9年前に赴任したときの「みささ(vol.32)」小生の新職員紹介を見返すと、「笑顔で頑張りたい」と書いてありました。この数年で、世界の情勢や、医療を取り巻く環境も、変わってきております。6年ぶりに戻って参りましたが、温かく迎え入れて頂き感謝しております(三朝温泉の温かさ(熱さ?)も変わりありませんでした)。持続可能な医療が提供できるよう、お互いみんなが笑顔になれるような医療を目指したいと思っております。



第三内科診療部長 青木 智宏

2022年2月より内科に勤務しています青木智宏と申します。趣味はスポーツと花や苗木を育てることです。トライアスロン大会に参加するため日々のトレーニングを楽しんでいます。昨年4月肩甲骨、鎖骨、肋骨の骨折、肺挫傷、血気胸、脳出血、深部静脈血栓症、肺塞栓と負傷はありましたが、リハビリ、運動を再開する中で、骨、筋肉の働きを再認識、勉強しています。園芸では、小さな種から発芽し、きれいな緑、きれいな花をつけていく過程が楽しく、心が和みます。地域医療の力となれればと思いますので宜しくお願い致します。



病院長を退任するにあたり

前院長 森尾 泰夫

平成16年4月大月健二名誉院長の後任として三朝温泉病院院長に就任させていただきました。多くの患者さん、職員に対する責任に身の引き締まる思いであったことを昨日のように思い出します。令和4年3月末をもって院長を退任し、この4月からは一整形外科医としてこの病院に勤務しています。

18年間病院運営に協力いただいた職員の皆さん、中部医師会の会員のみなさん、ご指導いただいた自治体関係の皆さん、医師派遣をいただきご指導いただいた鳥取大学医学部、岡山大学医学部関係の皆さんに深甚なる感謝をいたします。病院は社会的共通資本の一つであり、そこで働く人は利他の精神で奉仕することが大切です。病院の継続発展は現場の職員が頑張ることはもちろんですが、病院が地域から必要とされる医療を行い信頼されることが大切だと思います。患者よし、地域社会よし、病院(職員)よしの三方よしの病院であって欲しいと願っています。充分とは言えませんが責任を何とか果たせてバトンを次につなげたことで安堵しています。今後は自分の整形外科臨床をグレードアップし地域の皆さんのお役に立てるよう努めて参ります。ありがとうございました。これからもよろしくお願いいたします。

後任の深田悟院長のもと病院が発展することを願っています。

拝啓、読者のみなさまへ

前院長・新院長からのメッセージ

本年4月、18年間当院の院長を務めた森尾医師が退任し、新たに深田医師が院長へ就任いたしました。今号は特別編として、前院長と現院長よりごあいさつをさせていただきます。

よろしくお願いします!!

新院長 深田 悟

4月1日に森尾先生から引き継いで、病院長に就任しました。若輩者ではありますが、今ある形に自分らしさを織り交ぜながら病院運営に尽力したいと思います。この場を借りて簡単に自己紹介させていただきます。当院には平成20年から整形外科医として勤務しています。小学4年から高校卒業までの9年間で倉吉市で過ごした私ですが、ここ三朝の夏祭り、キュリー祭でのジマスカみに倉吉から三朝まで毎日自転車通っていた思い出があります。

さて、先日の温泉施設改修のためのクラウドファンディングでは皆さんに支えていただいていることを実感することができ、大変心強く思います。改めて御礼申し上げます。一方で、2年前からの新型コロナウイルス感染症の流行もあって、従来のコミュニケーションがとりにくくなり、そのためか一人一人の元気や笑顔が少なくなっているようにも思います。今こそ当院のセールスポイントである温泉を生かしたりハビリテーションが心身の療養に力を発揮する時だと感じます。皆さんも職員も笑顔になれる病院を目指して日々取り組みたいと思います。そして、当院だけでなく鳥取県中部地区の医療を盛り上げていく所存です。何卒よろしくお願い申し上げます。

▼ 病院一体となって地域や院内を盛り上げてきた、森尾前院長。

▼ 優しい笑顔で患者さんの声に耳を傾ける、深田新院長。



前院長

森尾 泰夫



新院長

深田 悟



学会発表／講演

学会発表

令和4年1月～6月

演 題	学 会 名	年月日	開催地	演 者
脊椎圧迫骨折で経皮的椎体形成術(BKP: Balloon Kyphoplasty)が選択された症例	2021年度鳥取県診療放射線技師学術大会	3月13日	WEB	芦原 匠
MRI装置更新に伴うコイル感度領域の確認	第14回 Torrori BIRT meeting	5月26日	WEB	津川大樹
当院の心房細動例の検討	令和4年度鳥取県医学会	6月19日	鳥取市	竹田晴彦
AKIのバイオマーカーとしての特に尿中IV型コラーゲンと尿中NGALの比較検討	令和4年度鳥取県医学会	6月19日	鳥取市	竹田晴彦
外来血圧、家庭血圧と一日塩分摂取量との関係	令和4年度鳥取県医学会	6月19日	鳥取市	竹田晴彦
食事負荷試験とCPR値との関係(第2報)	令和4年度鳥取県医学会	6月19日	鳥取市	竹田晴彦

講 演

令和4年1月～6月

演 題	講演会名	講演日	講演場所	講演者
高次脳機能障害 介護現場で知っておきたいこと・出来る取り組み	鳥取県社会福祉協議会 社会福祉従事者向け研修	1月18日	WEB	井尾政美
日常生活における腰痛予防	湯梨浜文化大学 介護予防講座	1月19日	湯梨浜町	荒石章夫
糖尿病予防にはどっちを選ぶ？ ～よくある誤解をひも解きます～	三朝町食生活改善推進事業 「糖尿病予防学習会」	1月19日	三朝町総合文化ホール (体験交流室)	山口洋司、森 倫子 吉田 彩
トランスファーを中心とした介助技術	高齢者専門福祉部会 スキルアップ研修	2月24日	倉吉市	山根隆治
お子さんの足・靴に関して	三朝町5歳児健診	3月1日	三朝町	別所大樹
フレイルに関して	西小鹿地区いきいき元気サロン	3月10日	三朝町	別所大樹
スポーツ障害の予防	鳥取県スポーツ指導者研修会	6月5日	倉吉市	山根隆治
地域の子育て支援に対する理学療法士の関わり	倉吉総合看護専門学校	6月7日	倉吉市	大丸利沙
足・靴・歩行について	北谷地区健康教室	6月30日	倉吉市	別所大樹

外来診察案内

受付時間 ⑨ 8:30～11:00 ⑩ 8:30～10:30

外来予約専用TEL

0858-43-2476 [受付 平日12:00～17:00]

診療科名		月	火	水	木	金
内科	一診	竹田	塩	光延	松田(午前) 森本(午後)	塩
	二診	松田	青木	竹田(午前)	藤田	青木
	三診	芦田	森本(午前) 芦田(午後)	芦田(午前) 高田(午後)	芦田(午後)	藤井(11時～)※注1
リハビリテーション科		担当医	担当医	担当医	担当医	担当医
整形外科・ リウマチ科	一診	深田	森尾	深田	石井	森尾
	二診	石井	藤原	藤原	加藤	リウマチ外来
	三診	福嶋	—	福嶋	—	加藤
神経内科	一診	—	—	—	—	瀧川(午前)※注2
ドック		—	—	人間ドック(塩)	人間ドック(竹田) 腰痛ドック(藤原)	脳ドック(瀧川)

※注1 睡眠時無呼吸・呼吸器外来

※注2 現在、神経内科の診察は再診の方のみとなっております、初診の受付は行なっていません。

令和4年7月1日～

クラウドファンディングご支援の御礼

昨年12月から今年1月にかけて温泉施設改修のためのクラウドファンディングを実施いたしました。当初の目標金額(500万円)を上回る942万円のご支援をいただきましてありがとうございます。また、同時に皆様から応援メッセージをたくさん頂戴しました。当院が多くの方々に温かく見守られ支えられていることを実感することができ、大変心強く感じております。その期待に応える病院であり続けたいと改めて感じました。今後も職員一丸となって「安全、安心で良質な医療を提供し、常に地域から信頼される病院」を実践してまいります。



三朝温泉病院院長
深田 悟

公益社団法人 鳥取県中部医師会立
三朝温泉病院

病院理念

安全、安心で良質な医療を提供し、常に地域から信頼される病院

〒682-0197 鳥取県東伯郡三朝町山田690 TEL: (0858)43-1321 FAX: (0858)43-2732
E-mail: ishikai@hosp.misasa.tottori.jp URL: http://www.hosp.misasa.tottori.jp/

三朝温泉病院

公式Facebookページ



日常の出来事から診療
に関するお知らせまで、
随時更新しています。

インスタグラムは@misasahosp